

公共事業事後評価

海岸保全(高潮)事業 静浦漁港海岸(多比地区)



1. 事業概要

事業期間:平成8年度~21年度

事業費:22.57億円

事業概要:海岸保全施設整備

(堤防:延長178m 胸壁:延長172m 陸閘:3基)



1. 事業概要

第3次地震被害想定津波浸水域図



凡例

推定津波想定域

- 水門等開放時の浸水域
- 水門や防潮堤などの海岸施設が整備なしの浸水域
- 浸水深 0~0.5m
- 浸水深 0.5~1m
- 浸水深 1~2m
- 浸水深 2m以上

第3次地震被害想定データに関するお問い合わせについては、以下までご連絡下さい。

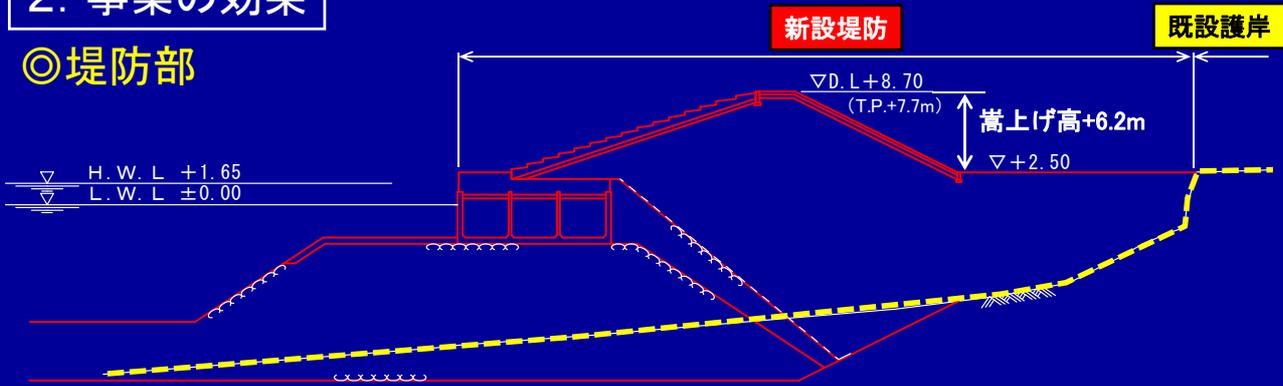
静岡県 危機管理部 危機情報課
TEL:(054)221-3694

出典:静岡県GIS

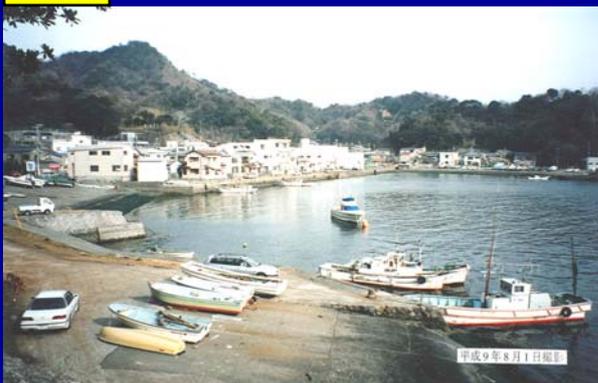
2. 事業の効果

◎堤防部

▽ H.W.L +1.65
▽ L.W.L ±0.00



整備前



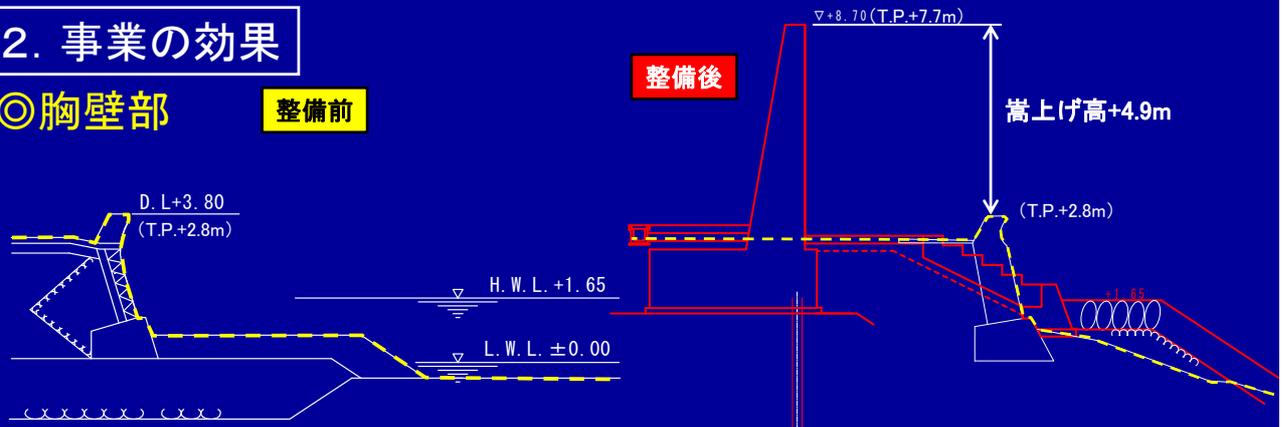
整備後



【海岸保全施設の整備により浸水想定区域5.8haが解消された】

2. 事業の効果

◎胸壁部



整備前



整備後



【海岸保全施設の整備により浸水想定区域5.8haが解消された】

2. 事業の効果

◎陸閘部

整備前



整備後



【海岸保全施設の整備により浸水想定区域5.8haが解消された】

3. 事業の投資効果

総費用(C) = 39.0億円(現在価値換算)

- ・全体事業費 36.2億円
- ・維持管理費 2.8億円(50万円/年)

総便益(B) = 39.7億円(現在価値換算)

- ・想定浸水域(津波)の被害軽減効果

多比地区における総被害軽減額: 193.1億円(一般資産被害額: 68.2億円、公共土木施設被害額: 122.8億円、公益事業等被害額: 2.1億円)

⇒地震発生確率を加味した年間便益額: 1.52億円

⇒50年分の被害軽減効果を現在価値換算(総便益): 39.7億円

総費用(C)に対する総便益(B) $B/C = 1.02$

※海岸保全施設を整備し浸水想定区域が解消されたことで、津波による人的被害の大幅な減少が見込まれる。

4. 事業実施による環境の変化

◎地元の意見を取り入れた整備

・ワークショップ等の実施により、地元の意見を取り入れ、施設の形状や背後地の利用方法に反映。



・階段状の親水護岸や斜路の設置により、施設整備前と同等の海岸の利用を図る。

・施設背後用地を防災緑地として活用見込み。

・陸間等施設における地元自治会との操作委託の締結。

階段堤防からの眺め



階段状の親水護岸と斜路



堤防背後用地の利用や維持管理



5. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

◎東日本大震災の発生と静岡県第4次地震被害想定の公表

・地域の津波対策への関心が高まっており、津波避難マウントや津波避難階段、避難路の整備などが進められている。また、定期的に地域住民が参加する津波避難訓練が実施されている。



6. 対応方針(案)

(1) 評価結果

・事業の効果は十分に発現しており、改善措置の必要はない。

(2) 今後の課題等

・「静岡県第4次地震被害想定」により新たに想定された発生頻度の高い地震・津波に対して照査を行い、必要に応じて改良内容を検討する。

・発生頻度の高い津波を超える津波が来襲した際にも、施設が粘り強く減災効果を発揮する構造への改良を検討する。

(3) 同種事業への反映等

・海と密接な係りのある漁港海岸では、津波対策施設の未整備箇所が存在している。今後の同種事業については、本地区事例を活かし、地域の意見を取り入れ地域の特色を踏まえつつ、効率的な整備を推進していく。